

2020年9月25日

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 2021年度（令和3年度）入学者選抜
新型コロナウイルス感染症対策のガイドライン

本学では、2021年度（令和3年度）入学者選抜において、「令和3年度大学入学者選抜実施要項」及び「令和3年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドライン」（文部科学省：令和2年6月19日付）の指針に基づき、『松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 2021年度（令和3年度）入学者選抜 新型コロナウイルス感染症対策のガイドライン』を定めました。

なお、本ガイドラインは、今後の新たな感染拡大や情勢変化等に応じて、随時修正・更新を行います。修正・更新した場合は、本学ホームページに速やかに公開いたします。受験生の方は、必ず事前にご確認ください。

1. 受験生へのお願い・連絡事項

試験場における感染拡大を防止し、受験生自身が安心して受験できる環境を確保するために、あらかじめ受験生に以下の事項を要請します。

(1) 医療機関での受診

発熱・咳等の症状がある受験生はあらかじめ医療機関での受診をお願いします。

(2) 受験できない方

新型コロナウイルス等に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない受験生や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた場合は、受験できません。試験日前日までに本学入試課までご連絡ください。

(3) 発熱・咳等の症状がある場合

発熱・咳等の症状があり、試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合は、受験を取り止めます。その場合は、試験当日の9:30までに本学入試課までご連絡ください。

その後の対応については、別途ご案内します。

(4) 試験場への入場

試験当日の検温で37.5度までの熱はないものの、発熱・咳等の症状のある受験生は、その旨を試験監督者等に必ず申し出てください。また、入場時の混雑を避けるため、時間に余裕を持って行動してください。

(5) マスク着用の要請

発熱・咳等の症状の有無にかかわらず、試験場内ではマスクを着用してください。また、休憩時間等における他者との接触、会話も極力控えてください。

(6) 手指消毒の要請

試験室への入退出を行うごとに、速乾性アルコール製剤による手指消毒を行ってください。

(7) 試験室自席での対応

受験番号にて指定された机に着席してください。休憩時間等を含め自席以外の机への着席、使用は一切認めません。

(8) 試験当日の換気と服装

試験当日は、試験室の換気のため、定期的に窓の開放等を行いますので、上着など暖かい服装を持参してください。

(9) トイレの使用

本学会場では、トイレ入口において、混雑を避けた利用、利用後の手洗いなどを促す案内紙を掲示します。必ず確認してから使用してください。

(10) 保護者控室

試験場への入場者数や集団の形成を極力抑制する観点から、保護者控室については、原則設置いたしません。ただし、試験場内までの受験生への付き添いが必要な場合は、事前に入試課までご相談ください。

(11) 試験終了時の試験室からの退出方法・帰宅

試験終了時の混雑を避けるため、試験監督者の指示に従って退出してください。また、試験場内では使用したマスクを廃棄せず、必ず持ち帰るようにしてください。各自寄り道などはせず、なるべくまっすぐ帰宅し、帰宅後は、まず手や顔を洗いましょう。

(12) 関係機関との連携

感染者が出た場合には、濃厚接触者の特定など、保健所等の行政機関が行う必要な調査への協力を行うため、試験場ごとの受験者リストを提供する場合があります。

(13) ワクチンの接種

他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、インフルエンザワクチンその他の予防接種を受けておくことを推奨いたします。

(14) 「新しい生活様式」等の実践

日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。

2. 別日程への受験振替

新型コロナウイルス等に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない受験生や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた受験生、並びに発熱・咳等の症状があり、試験当日の検温で37.5度以上の熱がある受験生は、受験を取り止めます。

なお、その場合は、特別措置として追加の入学検定料を徴収せず、別日程への受験の振替を行います。申請には、原則として医師の診断書等の提出が必要です。

3. 試験実施における本学の対応

(1) 使用教室について

使用する試験室は、通常の講義等での使用時における収容定員の半分程度以下とします。また、受験生同士の座席間の距離は、1メートル程度の間隔を確保します。

ただし、面接会場については、受験生同士及び面接官との距離は2メートル以上を確保し、常時ドアを開放します。

(2) 試験監督者等の体調管理

試験業務に携わる試験監督者等については、試験前7日間、体温測定や健康観察を行い、体調管理に努めます。また、「三つの密」の回避や、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗い・速乾性アルコール製剤による手指衛生をはじめとした基本的な感染対策に努めます。

また、試験終了後も、当日試験に携わった試験監督者等については、試験後7日間、体温測定や健康観察を行います。

(3) 看護師等の配置

発熱・咳等の症状のある受験生が受験する場合に備え、本学会場では看護師等を配置いたします。

(4) 別室の確保

発熱・咳等の体調不良者のための別室を本学会場では設けます。別室においては、基本的に概ね2メートル以上の間隔での座席配置を行います。

(5) 試験室の机、椅子の消毒

試験前日に消毒用アルコールを使用した拭き取りを行います。また、試験が連続し、座席利用者が異なる場合は、その都度、拭き取りによる消毒を行います。当日の試験終了後にも、拭き取りによる消毒を行います。

以上

【お問い合わせ先】

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 入試課

TEL：089-931-6211（代表）

フライングダイヤル：0120-874044（直通）